

橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ②4

橘町HP <https://tachibana-net.jp> [歴史・史跡](#) クリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和6年6月1日
責任者：國平 安治
事務局：橘公民館 22-3884

今月号の案内者は

おきなが ばば まさひろ
沖永区長 馬場 政宏さん



二侯区長さんから、リレー
やけん、今回は江戸時代の
はじめば解説すっね。タッ
パ君、よろしく!!



クイズ

●戦国末期の武雄領主は誰？

★印番号の解説

★① 後藤領

しおみじょう しまばら ありまし せ お
潮見城が島原の有馬氏に攻め落とされ、そのあと
を武雄(塚崎)の後藤貴明がおそって自分の領地
としたいきさつがあるよ。(次号のお楽しみ)

★② 後藤家信

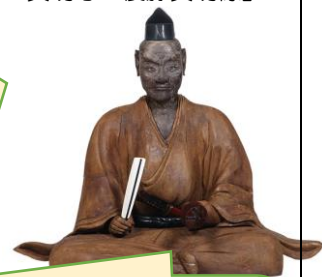
いえのぶ ごとうけだい
家信は後藤家第
20代当主。佐賀
の龍造寺から養
子にきた。

養子先の後藤貴明には実子がいたが、平戸から養子にもらっていた惟明が貴明に背いたので龍造寺隆信に助けを求め、隆信の3男と貴明の長男をそれぞれ養子にしたんだ。
ネットにはこんなかっこいい絵もあるよ。
(ブログ：げむおた街道をゆくより)

★③ 後藤貴明

貴明寺「後藤貴明像」

ワシは後藤家第19代当主じや。ワシは大村で生まれたんだが、なぜか大村の殿が、後藤に養子に出しての。



でワシは、はがいくて、いつも大村を落とそうと攻めたんじゃよ。義理の父の純明(後藤18代)は、渋江公勢の実子だったんじゃ。後藤家は橘と大村から続けて養子をもったんじゃよ。

★④ 養子

近くの領主に男子がいないと養子に送り込んだり、娘を嫁がせたりして影響を大きくしようとしたんだね。出す方は勢力拡大をもくろみ、養子先は実家で頑張ってもらいたいので、養子は悩むね。

②2号内容江戸時代始め

しゅじんこう ごとうし 主人公は後藤氏

- 江戸時代は【今から約420年前～150年前】
- ・三法方(湯)は3分上地のあと
- ・その前は後藤領だった

●江戸時代はじめは後藤領★①だった。

- ・その時の領主は後藤家信★②。
- ・家信は、後藤貴明★③に養子★④にきた人。

・これは戦国末期の話

●戦国末期(1584年)に家信の、父龍造寺隆信が島原で戦死するんだ。

- ・すると、龍造寺家は義理弟の鍋島直茂★⑥が実権を握るんだよ。

●江戸時代になると、龍造寺の直系を排除して、龍造寺系統の家★⑥から3割の領地を2回に渡って上地★⑦で取りあげるんだ。

- ・こうして上地になった所が橘なんだ。

・大部分が蓮池領★⑧になり、新開発地や重要拠点は本藩領に、後藤に残った★⑨のはわずかになってしまったんだ。

★⑤ なべしまなおしげ 鍋島直茂

りゅうそうじたかのぶ ぎり おとうと
龍造寺隆信の義理の弟。
たかのぶ ははおや けいぎんに なお
隆信の母親(慶間尼さん)が直
しげ きよふさ
茂の父・清房のところに押し
かけ女房となったため、義理
の弟になるね。
たかのぶ みぎうで せんごくまつき
隆信の右腕として戦国末期に
かつやく なべしまはんそ
活躍し、鍋島藩祖と言われる。



「鍋島直茂像」
(ウィキペディア)



「たっぼくん」

天正十八年(一五九〇)家信廿八
才一月鍋島信生従五位に叙せら
れ加賀守に任ず。羽柴豊臣の姓を
与へられ真茂と改む。この時政家
の子息長法師丸は藤八郎高房と号す
其の時の知行目録
肥前国龍造寺藤八郎の知行
合拾参万式千式百石
後藤善次郎
老万四千石
右天正十八年正月八日(朱印)
同年三月七日
老万九千七百参石九斗
右後藤善次郎とのへ
杵島郡内
下松浦郡
小城郡内

なべしまはんしょだいはんしゅ なおしげ こ かつしげ
鍋島藩初代藩主は、直茂の子の勝茂がなるけど
すぐには、権力が移らなかつたんだね。
たかのぶ ひでよし
隆信さんが死んで、あの有名な秀吉さんが
きゅうしゅう へいてい
九州を平定するんだけど、その時に肥前の
りょうゆうしゃ とち にんてい うえ しりょう
領有者と土地を認定したのが上の資料(ゆかり
から拝借)。1594 に父隆信が死んで 1590 に
は長男政家の子高房に知行は移り、武雄の後
とういへのぶ きしまくん しもまつらぐん おぎくん いちぶ
藤家信には杵島郡、下松浦郡、小城郡の一部が
あた
与えられたんだ。



★⑥ りゅうそうてらけいと うえ 龍造寺系統の家

武雄後藤家、多久家、諫早家、
須古家の4家。



★⑦ さんぶじょうち 三分上地

さがはん りゅうそうてらけい ちから へ
佐賀藩は龍造寺系の力を減らしていった。
うごき お
その動きを追うと、下の表になるね。

1584年、りゅうそうじたかのぶせんし 龍造寺隆信戦死
1607年、江戸において龍造寺高房が急死。
同年父、政家も死亡(龍造寺断絶)
⇒鍋島直茂嫡男の勝茂が龍造寺家の
かたく ひきつぐ
家督を引き継ぐ
1608年、直茂・勝茂に忠誠を誓う起請文
1611年、全ての家に三分上地
1621年、龍造寺四家に三分上地
⇒0.7×0.7=0.49
この結果、後藤の領地は半分以下になる

★⑧ しはん 支藩の蓮池領

なべしまかつしげ じぶん おとうとただししげる ちょうしちとしげ なお
鍋島勝茂が自分の弟忠茂、長子元茂、5男直
すみ
澄に分家させ、3つの支藩ができたんだ。

勝茂は子供たちに領地を分け与えかっただ
れど、本藩の領地が少なかったの三分上地で
領地を生んだわけ。こうして橋町の殆ど
が蓮池領に。蓮池藩西側を治めたところが
しおた まえだのぶ えもん やくんに
塩田。前田信右衛門さんもこの役人さん。

「塩田宿」
(佐賀市 HP)



★⑨残ったわずかな場所

上野・潮見の一部と花島・長島の一部

今回ご紹介した時代は『戦国末から江戸時代初期』でした

| 時代区分 | 鎌倉時代 | | 南北朝時代 | 室町時代 | 戦国時代 | 江戸時代 | | 明治時代 |
|---------------------|---|--|--|---------------------------|---|---|---|------------------------------------|
| 新・ふるさと歴史散歩 記載項目 | 鎌倉幕府成立。 守護地頭による 地方支配、橋氏 の入り | 元寇襲来と警 備、恩賞要求と 幕府の弱体化、 少武・大友の探 題攻撃 | 建武の新政 南北朝時代と 九州3つ巴の 動乱の時代へ | 室町幕府成立 応仁の乱、竜 造寺の台頭 | 信長から秀吉 へ。竜造寺勢力 拡大と島原敗 死。文禄・慶長 の役 | 江戸幕府成立 佐賀藩は鍋島体 制へ 佐賀本藩へ3 部上地2度 | 江戸幕府安定政 権、長崎警護と フェートン号事 件、尊王攘夷へ | 戊辰戦争と明治 維新、近代化と 殖産振興 |
| 主な市内遺 跡 赤書は橋町 | 潮見城跡と館 跡、潮見・山 下・小野原・馬 場・立岩等の中 世遺跡 源頼朝御教書 | 潮見川開削と 河童筆文石、 洪江・中村・中 橋氏館跡 塚崎庄が長島庄 から分離 | 北肥戦史等に よる北部九州 動乱、洪江 vs 後藤。塚崎庄 拡大、武雄社 、黒尾社 | 洪江氏勢力拡 大 | 日鼓城の悲劇、 潮見城落城と鉄 砲・丹宗堀 後藤が竜造寺配 下に 肥前古窯跡と古 武雄 | 三法方郷 (橋は本藩・蓮 池・後藤領) 鳴瀬宿と御狩 場、長崎街道 | 上野本窯・皿山 窯跡 後藤鍋島藩の蘭 書、大砲等 北方炭鉱 | 上野新・形右衛 門・鳴瀬窯跡、 樽崎炭鉱 鉄道開通 |